

# 盛会だった農業祭

5回目をむかえた大館市農業祭は、先月22日から5日間、中央公民館と市民体育館を会場におこなわれました。

いままでは、種苗交換会への出品物の陳列展示を主体として、11月3日の文化の日の前後におこなってきましたが、その成果を検討した結果、今回から陳列展示以外の行事に重点をおくことになったため、農閑期の1月におこなったものです。

期間中は農業大学が開講され、また、健康な稲作り、そ菜の生産と販売、果樹の主産地形成、畜産経営のあり方などについて、それぞれの専門家の講演を聞き優秀農家の体験発表をまじえて談話会形式で学習がおこなわれました。

24日の最終日は、会場を市民体育館にうつし、各農協対抗の演芸会、多収穫競争作会の入賞者の表彰をおこない、盛会のうちに幕をとじました。

今年は、多収穫競争作会で入賞された方はもちろん、農家のみなさんが、経営の合理化をはかり、豊かな農家をきざぎあげるためにより一層努力してください。

## 農作物多収穫競争作会入賞者

### ◇水稲 (出品120点)

- ① 畠山 伝一(曲田)661.2キロ、4石408
- ② 黒田長一郎(別所)625.2キロ、4石168
- ③ 畠山助四郎(曲田)606.7キロ、4石044
- ④ 藤原 正治(山館)600.8キロ、4石005

### ◇白菜、甘らん (出品47点)

- ① 長崎市司(立花) ② 長崎末治(立花)
- ③ 桜庭幸一(大館古川町)

### ◇ねぎ (出品50点)

- ① 鎌田正二郎(立花)
- ② 畠山長蔵(餌釣) 畠山勇光(曲田)
- ③ 羽柴勇治(曲田) 羽柴文吉(〃)

佐々木義信(曲田) 長崎市司(立花)  
兜森与之丞(餌釣)

### ◇堆肥 (出品94点)

- ① 小畑五郎蔵(下四羽出)
- ② 鎌田正二郎(立花) 藤原正治(山館)  
小畑忠吉(上四羽出)
- ③ 秦新之丞(下川原) 佐藤康範(〃)  
小畑孫一郎(上四羽出)  
小畑兵二郎(〃) 小畑長作(〃)  
小畑千代三郎(〃)

## 農協対抗演芸会入賞者

### ◇歌謡曲の部

- ① 佐々木長三郎(大館)
- ② 藤原誠一郎(上川沿)
- ③ 小畑忠義(二井田)

### ◇民謡の部

- ① 斎藤 忠明(長木)
- ② 畠山 スワ(釈迦内)
- ③ 加賀谷英雄(二井田)

### ◇手踊りの部

- ① 釈迦内 ② 長木 ③ 大館

### ◇総合

- ① 釈迦内 ② 長木 ③ 大館



写真上は—多収穫競争作会優勝者  
右から畠山伝一、長崎市司、鎌田正二郎、堆肥2位の藤原正治のみなさん

写真下は—農協対抗演芸会優勝者  
前列左から佐々木長三郎、1人おいて斎藤忠明それに松木婦人会、釈迦内農協のみなさん。

# 70才になった方は 国民年金を受ける手続きを

◇明治27年生まれで今年の誕生日をむかえた方は、70才になられた方です。

70才以上の方は、老令福祉年金を受ける権利がありますが、定められた手続きをしないと年金を受けられません。

まだ手続きをしてない方は、戸籍抄本を添えて、市役所年金係で早めに手続きをしてください。

なお、75才をすぎても手続きをしないときは、年金を受ける権利がなくな

りますから、くれぐれもご注意ください。

◇保険料の3期分(10月~12月分)を納めましたか。

3期分は、先月末までに納めることになっております。

未納のときに事故がおきた場合はどんな年金も受けられませんので、未納の方は、いまずぐ市役所または各出張所、銀行の窓口へ納めてください。

## 予 防 接 種

赤ちゃんの百日せき、ジフテリアの混合予防接種を次の日程でおこないます。該当者には、必ず受けさせてください。

### ○該当者

第1期・昭和38年3月1日から8月31日までの出生者およびこれ以前の出生者でまだ受けていない者

第2期・昭和37年3月1日から8月31日までの出生者

### ○日 程 右の表のとおり

### ○時 間

二井田、真中、長木、茂内は  
午後1時から2時まで  
上川沿、下川沿、釈迦内は  
午後2時から2時30分まで

十二所は午後1時から2時30分まで  
市民体育館、石田病院は

午後1時から3時まで

○料金 1回につき50円

### 【日 程 表】

と ころ	第 1 期 (2回目)	第 1 期 (3回目) 第 2 期
二井田公民館	2月20日	3月12日
真 中公民館	〃	〃
上川沿公民館	〃	〃
下川沿公民館	〃	〃
長 木公民館	21日	13日
釈迦内公民館	〃	〃
茂 内診療所	22日	14日
十二所公民館	〃	〃
市民体育館	28日	18日
石 田 病 院	29日	19日
市民体育館	3月4日	27日

## 広報豆知識 うるう年

ことしは〃うるう年〃に当るので、2月は29日まであります。

なぜ〃うるう年〃は4年に1回やってくるのでしょうか。

私たちは、太陽の回りを地球が一周するのを1年(365日)とする「太陽暦」で日を定めております。しかし、実際は365.2422日かかるので、毎年0.2422日があまることとなります。そこで、この端数が4回たまる2、0.9688日になるので4年に1回、2月を29日としているのです。ところが、そのため逆に端数が不足するので、400年に3回は、28日の〃うるう年〃をおいて調整しなければなりません。

この日に生まれた赤ちゃんは、4年に1回より誕生日がやってきませんが、またおもしろいことに、この〃うるう年〃には、世界の注目を集める民族の祭典〃オリンピック〃と、アメリカの大統領選挙が一致していることです。